

彙報

平成二十五年度密教文化研究所だより

昨年度、高野山大学では、大阪市の精密機器メーカー(株)フジキンより前会長小川修平氏の遺志金の御寄付を頂き、「高野山大学フジキン小川修平記念講座」を発足。これをうけて、密教文化研究所では本年度、共同研究プロジェクトの一つ「密教と現代社会の諸問題に関する研究」の一環として、新規事業「宗教と科学の対話」プロジェクトに取り組んでいる。

このプロジェクトを推進するため、本研究所では、村上和雄先生(筑波大学名誉教授・国際科学振興財団バイオ研究所長)を特別招聘顧問としてお招きした。また、村上特別招聘顧問をオプザーバーとして、中村所長のもと、「宗教と科学の対話」プロジェクト研究会を立ち上げ、

棚次正和先生(京都府立医科大学教授・本学客員教授)、
奥 健夫先生(滋賀県立大学教授・本学客員教授)、
鮎澤 聡先生(筑波技術大学准教授・本学客員教授)、
川田 薫先生(川田研究所所長・本学客員教授)、
室寺義仁先生(滋賀医科大学教授)、
生井智紹先生(本学名誉教授)

といった諸先生方にもご参加いただき、大阪ガーデンパレスを会場に年6回の研究会を開催している。この研究会では、密教・仏教の学問領域のみならず、宗教学をはじめ、分子生物学・物理学・医学といった領域の最先端の研究成果を持ち寄り、真言密教をはじめとする宗教と科学が有する今日的意義について、議論を重ねている。

また、この研究会での議論を踏まえ、祈りや瞑想が遺伝子にどのような変化をもたらすのかという課題「いのちと遺伝子」について、「護摩行が身心に及ぼす影響の作用機序と分子基盤の解明」を目的とした科学臨床データの検証実験も開始した。瑞應山蓮華院弘明寺(横浜市)を会場としたこの臨床実験は村上和雄先生を代表として

大西淳之先生(東京家政大学准教授)、

笹岡知子先生(筑波技術大学助教)、
松村益子先生(医療法人財団謙仁会亀有病院顧問)、
堀 美代先生(国際科学振興財団バイオ研究所研究員)、
坂本成子先生(国際科学振興財団バイオ研究所研究員)、
大西英理子先生(国際科学振興財団バイオ研究所研究員)、
といった先生方に協力いただき、研究会メンバーの鮎澤先生を軸に、棚次先生、中村所長も参加して検証を進めている。

○「宗教と科学の対話」プロジェクト研究会

- 第1回5月26日(日) 於…大阪ガーデンパレス
奥 健夫…意識と生命の科学
第2回6月16日(日) 於…大阪ガーデンパレス
川田 薫…生命の正体
第3回8月11日(日) 於…大阪ガーデンパレス
中村本然…真言密教の思想と現代
第4回11月24日(日) 於…大阪ガーデンパレス
鮎澤 聡…祈り・瞑想の身体基盤
第5回1月26日(日) 於…大阪ガーデンパレス
棚次正和…超越する実在 ―人間の存在構造を問う視点より
第6回3月23日(日) 於…大阪ガーデンパレス
室寺義仁…講題未定

○実証部門「いのちと遺伝子」研究会

第1回12月8日(日) 於…横浜市弘明寺

○フジキン小川修平記念講座講演会

日 時 10月13日(日) 12時から18時
場 所 大阪中之島中央公会堂

講演 1 「科学と思想の相互越境への挑戦」 松本紘先生(京都大学総長)
講演 2 「ダーウィンが来た…新しい因果性の科学」 西川伸一先生
(JT生命誌顧問)

講演 3 「心は遺伝子の働きを調節する」 村上和雄先生(筑波大学名誉教授)
パネル・ディスカッション

司 会 中村本然(高野山大学密教文化研究所所長)
パネラー 棚次正和先生(京都府立医科大学教授)

生井智紹先生(高野山大学名誉教授)
西川伸一先生
村上和雄先生

○密教文化研究所研究会

第1回6月12日(水) 於…本学第三会議室

日野西真定…「高野山の民俗」

第2回7月24日(水) 於…本学第一会議室

井上ウイマラ…「解脱／悟りとレジリエンス」

第3回8月1日(木) 於…本学第一会議室

室寺義仁…「法印」(dhamanudā)の三特相と菩薩にとっての四つの標語
(dhamuddesa)」

船山 徹…「玄奘の「五種不翻」説と音訳の意義」

第4回10月2日(水) 於…密教文化研究所会議室

北川真寛…「日本密教における六度行について—特に論義書を中心として—」

第5回11月13日(水) 於…本学第一会議室

大塚伸夫…「初期密教の第三期時代における密教形態について」

大柴清圓…「古今文字讀」について」

第6回12月11日(水) 於…本学第一会議室

鈴木晋恰…「文明論としての原発問題—宗教者の一視点として—」

静 春樹…「インド仏教金剛乗の解脱システム解明をめざして」

石部道明…「ガリム」における究竟次第の特色」

第7回12月13日(金) 於…本学第一会議室

森 雅秀…「鶴見大学図書館所蔵の逸見梅栄コレクションにみられる注目すべき作品」

第8回1月29日(水) 於…本学第一会議室

下西 忠…「西国三十三ヶ所の巡礼歌をよみ解く—紀伊国三ヶ寺を中心に—」
加納和雄…「近年の初期ガンダーラ語大乗仏典写本研究について—研究紹介
と雑感—」

森崎雅好…「自殺ハイリスク地で保護された自殺ハイリスク者の特徴—自殺
念慮が消失した事例を通じて—」

○東日本大震災支援活動から学ぶ連続講座

第1回5月29日(水) 於…本学第三会議室

広瀬敏通(RQ災害教育センター代表理事・NPO法人日本エコツアーリズム
センター代表理事)

講題…「復興支援から災害教育へ」

第2回6月26日(水) 於…本学第三会議室

中島聡美(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所成人精神保健
研究部犯罪被害者等支援研究室長)

講題…「複雑性悲嘆と災害復興支援活動について」

第3回7月17日(水) 於…本学第三会議室

渡辺久子(慶應義塾大学医学部小児科講師)

講題…「郡山市における子供のこころのケアプロジェクト」

第4回9月25日(水) 於…本学第三会議室

堤 澄子(一般社団法人バストラルケアセンターHUGハウス代表理事)

講題…「被災地におけるスピリチュアルケアの実践」

第5回10月23日(水) 於…本学松下講堂黎明館

石井光太(ノンフィクション作家)

演題…「遺体」から見えてきた宗教の原点について」

※映画「遺体—明日への十日間—」を上映。

第6回10月30日(水) 於…本学第三会議室

山崎達枝(DMORT研究会幹事)

講題…「被災地におけるDMORT活動の可能性について」

第7回11月27日(水) 於…本学第三会議室

喜多村龍介(六大新報社代表・真言宗大覚寺派大悲王院住職)

演題…「取材を通じて想うこと、伝えたいこと」

○連続講座「真言密教の教えと実践」

第1回11月21日(木) 於…グランフロント大阪ナレッジキャピタル

北川真寛…心を寛り、身を悟る

第2回12月19日(木) 於…グランフロント大阪ナレッジキャピタル

北川真寛…自他共生の瞑想法

第3回1月23日(木) 於…グランフロント大阪ナレッジキャピタル

北川真寛…密教占星術

○南山教学研究会

第1回11月8日(金) 於…密教文化研究所会議室

土居夏樹・北川真寛…『宗義決択集』をよむ

第2回11月22日(金) 於…密教文化研究所会議室

北川真寛…三密具不具

第3回12月13日(金) 於…密教文化研究所会議室

土居夏樹…理法身説法

第4回1月24日(金) 於…密教文化研究所会議室

小田龍哉・高柳健太郎…自性会因人

第5回2月21日(金) 於…密教文化研究所会議室

北川真寛…綵画形象

高野山大学では密教文化研究所初代所長中野義照博士の業績を顕彰するため、平成十二年から「中野義照博士奨学金」を設けている。平成二十五年度は三件の申請があったが、第2回密教文化研究所協議会において選考の結果、採択者なしと決定した。

密教文化研究所構成員名簿 (平成二十六年二月現在)

所長 中村本然 (本学文学部教授)

研究所顧問 松長有慶 (高野山真言宗総本山金剛峯寺第412世座主・高野山真言宗管長)

特別招聘顧問 村上和雄 (筑波大学名誉教授・国際科学振興財団バイオ研究所長)

「宗教と科学プロジェクト」関連

中村本然 (本学文学部教授)

村上和雄 (筑波大学名誉教授・国際科学振興財団バイオ研究所長)

棚次正和 (京都府立医科大学教授・本学客員教授)

奥 健夫 (滋賀県立大学教授・本学客員教授)

鮎澤 聡 (筑波技術大学准教授・本学客員教授)

川田 薫 (川田研究所所長・本学客員教授)

室寺義仁 (滋賀医科大学教授)

生井智紹 (本学名誉教授)

大西淳之 (東京家政大学准教授)

笹岡知子 (筑波技術大学助教)

堀 美代 (国際科学振興財団バイオ研究所研究員)

坂本成子 (国際科学振興財団バイオ研究所研究員)

大西英理子 (国際科学振興財団バイオ研究所研究員)

松村益子 (医療法人財団謙仁会亀有病院顧問)

専従研究所員

加納和雄 (本学文学部准教授)

土居夏樹(本学文学部助教)

兼任研究所員

井上ウイマラ(本学文学部教授)

佐藤隆彦(本学文学部教授)

下西 忠(本学文学部教授)

南 昌宏(本学文学部教授)

野田 悟(本学文学部助教)

森崎雅好(本学文学部助教)

トーマス・ドライトライン(本学文学部准教授)

専任研究員

北川真寛(本学大学院博士後期課程修了博士〈密教学〉)

委託研究員

日野西真定(本学名誉教授)

大塚伸夫(大正大学准教授)

静 春樹(本学非常勤講師)

森 雅秀(金沢大学教授)

鈴木晋恰(智山伝法院常勤教授)

船山 徹(京都在学人文科学研究所教授)

室寺義仁(滋賀医科大学教授)

受託研究員

池田英司(本学大学院博士後期課程単位取得退学)

石部道明(本学大学院博士後期課程単位取得退学)

上野康弘(本学大学院博士後期課程単位取得退学)

大柴清園(中国国立中山大学中国語言文学系古文字学専攻博士課程修了
博士〈文学〉)

岡田英作(京都在学大学院文学研究科文献文化学専攻修博士課程)

神田英昭(本学大学院博士後期課程単位取得退学)

坂口太郎(近畿大学・京都造形大学非常勤講師)

柴谷宗叔(本学大学院博士後期課程修了 博士〈密教学〉)

瀬岡吉彦(大阪市立大学名誉教授 経済学博士、本学大学院博士後期課程
単位取得退学)

辻村優英(神戸大学経済経営研究所企業資料総合センター助教・博士〈人
間・環境学〉)

徳重弘志(本学大学院博士後期課程単位取得退学)

中谷征充(本学大学院博士後期課程修了 博士〈密教学〉)

野口博司(本学大学院博士後期課程単位取得退学 本学非常勤講師)

平賀由美子(本学大学院博士後期課程単位取得退学)

藤巻和宏(近畿大学文芸学部准教授)

淵田雲溪(本学大学院博士後期課程単位取得退学 本学非常勤講師)

前田禮子(本学大学院博士後期課程単位取得退学)

森本一彦(本学非常勤講師・博士〈学術〉)

サンニヤ・ユルコヴィツ・シュミット(本学大学院博士後期課程修了
博士〈密教学〉)

吉田 唯(兵庫大学短期大学部非常勤講師・博士〈文学〉)

研究所事務室 木下浩良
谷口佳代子

『密教文化研究所紀要』編集委員会規程

第1条 密教文化研究所(以下「研究所」という。)に、「密教文化研究所紀要」(以下「紀要」という。)編集委員会(以下「編集委員会」という。)を設ける。

第2条 編集委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 研究所長
 - (2) 専従研究所員
 - (3) 「紀要」編集担当者
- 2 編集委員長は研究所長がこれに当たる。研究所事務室長は、幹事として編集委員会の事務を処理する。

第3条 編集委員会は研究所長が招集し、その議長となる。議長に事故ある時は、互選によって議長を選出する。

第4条 編集委員会は、次の事項を審議し、研究所協議会に報告する。

- (1) 「紀要」に寄稿された原稿の掲載の可否および掲載の時期の決定。
- (2) 「紀要」寄稿者への補筆および修正の要請。

第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成14年5月22日から施行する。

『密教文化研究所紀要』寄稿規程

第1条 『密教文化研究所紀要』(以下「紀要」という。)は、日本およびアジア地域などにおける密教の思想と文化に関する研究論文、研究ノート、研究資料、書評などを掲載発表することにより、密教文化の研究の発展に寄与することを目的とする。

第2条 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。

- (1) 研究所長
- (2) 研究所員
- (3) 研究員
- (4) 編集委員会が適当と認める者

第3条 原稿は、原則として400字詰原稿用紙70枚以内とする。

第4条 原稿は完全原稿とする。執筆者校正は再校までとし、校正時の大幅な変更・追加等は認めない。

第5条 寄稿された原稿は、査読委員会の査読を経て、編集委員会が掲載の可否および掲載の時期を決定する。また、編集委員会は、寄稿者に補筆および修正を求めることができる。

第6条 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行なわない。

第7条 寄稿者には、掲載誌2部および抜刷30部を贈呈し、その経費は研究所が負担する。

附則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

執筆者紹介（掲載順）

北川 真寛

密教文化研究所専任研究員

中谷 征充

密教文化研究所受託研究員

上野 康弘

密教文化研究所受託研究員

トーマス・ドライトライン

本学准教授・密教文化研究所兼任研究員

静 春樹

本学非常勤講師・密教文化研究所委託研究員

大柴 清圓

密教文化研究所受託研究員

徳重 弘志

密教文化研究所受託研究員

岡田 英作

密教文化研究所受託研究員

編集後記

○『高野山大学密教文化研究所紀要』第二十七号をお届け致します。

本号は、北川真寛・中谷征充・上野康弘・トーマス・ドライトライン・静春樹・大柴清圓・徳重弘志・岡田英作の八人の先生方より玉稿を賜り、大変充実した内容となりました。言うまでもなく、これら力作揃いの論考は、本年度の密教文化研究所の研究成果の一端を飾るものです。読者諸氏におかれましては、ご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

○本年度密教文化研究所では、昨年度に続きまして共同研究プロジェクトの一つ「密教と現代社会の諸問題に関する研究」の一環としまして「宗教と科学の対話」をテーマとする研究会、及び調査研究を新たに展開しています。彙報にもありますように、これは「祈り」についての科学的研究の先駆けとなるものです。村上和雄先生のご指導のもと、中村本然所長を核とした研究事業が進められています。どうかご期待下さい。

なお、致知出版社の月刊誌『致知』2013年11月号には、村上和雄先生と中村本然所長の対談「生命のメッセージ63」が掲載されました。混迷の現代社会に両先生の御提言は示唆に富んでいます。

○今年度、研究所では研究スタッフとして、新たに本学元非常勤講師の北川真寛（本学大学院博士後期課程修了博士〈密教学〉）氏を、専任研究員としてお迎えしました。同研究員のますますのご活躍を期待します。

○研究所委託研究員の日野西真定先生が永年に渡る功績を認められ名誉教授の称号を授与されました。

○また、本年度の密教文化研究所では、「東日本大震災復興支援活動から学ぶ連続講座」を年間7回開催致しました。講師には、斯界の第一線で活躍の著名な先生方をお迎えいたしました。好評の内に無事に終えることができました。本事業につきましては、後援として高野山真言宗東日本大震災災害本部のご後援をいただきまして、本宗団から交付金として六十万円もの貴重な浄財を賜りましたことも明記いたします。

○今年度の密教文化研究所は、これまでの歴史には見られない大躍進を遂げたことは、間違いないものと思っております。どうか、次年度の平成二十六年度につきましても密教文化研究所の活動にお力添えの程、お願い申し上げます。

(木下)

高野山大学密教文化研究所紀要 第二十七号

平成二十六年三月二十一日 印刷

平成二十六年三月二十五日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 中村 本然

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野町高野山三八五 高野山大学

電話(〇七三)五六―三三九〇 千六四八―〇二八〇

印刷所 株式会社 協和

和歌山県海南市南赤坂五十三

電話(〇七三)四八三―五二二一 千六四二―〇〇一七